

時津町は「家読」を推進しています

# たまには テレビをけして

高学年向け 2026年 夏号



発行：時津町立時津図書館

## 家読とは

家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す。これが「うちどく（家読）」です。難しいルールは要りません。家族みんなでルールを決めてはじめてみましょう。

家族で同じ本を読みあったり、おとうさんやおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい時間を過ごしましょう。

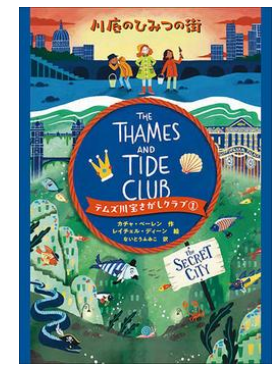


Illustrator ATSUKO



『爆弾に傘をさしたおばあちゃん』  
かとう あい/作・絵（文芸社）

ひいおばあちゃんの遺品の中から見つかったのは焼夷弾のおもり。街を焼け野原にした焼夷弾のおもりをなぜひいおばあちゃんもっていたのか？その謎を解くため、ひいおばあちゃんの人生をたどっていくと、壮絶な戦争体験と平和への強い思いがありました。



『テムズ川宝さがしクラブ』  
カチャ・バーレン/作 レイチェル・ディーン/絵  
ないとう ふみこ/訳（徳間書店）

私はクレム。友達ザラとアッシュと毎週テムズ川に行くの。川が干潮の時に、泥に落ちている宝物を見つけるのが最高に楽しいんだから！  
でもある日、川が大荒れになって街にいろんな異常が発生し始めた。どうやら川原でひろったこの輪っかが原因らしい…。持ち主に返して、街を助けなきゃ！



『にっぽん中のスゴイ!が見つかる  
絵さがし都道府県 3』  
寺本 潔/監修（ポプラ社）

各県のスゴイものがイラストになって、地図の上にかくれています。きみは全部見つけられるかな？

シリーズ3巻目には、私たちの住む長崎県ものっています。  
日本中の名産や歴史、自然などが遊びながら学べちゃう本です♪



『ともだちは海のおい』  
工藤 直子/作 長 新太/絵（理論社）

コドクが好きなイルカが出会ったのは、同じくコドクが好きで読書とビールが大好きなクジラだった。  
広い海を漂いながら、本のお話をしたり、手紙を書いたりして、仲良くなっていくふたり。  
美しい詩と共に語られる、イルカとクジラの少し変わった友情の物語。



『なぜ、穴を見つけると  
のぞきたくなるの?』  
石川 幹人/著（朝日新聞出版社）

あなたはどうですか？わたしは絶対のぞき派です。ふだんは気がつかないけど、考えてみると、わたしたちのまわりには謎がいっぱい。他にも「なぜ野菜や果物には真っ青なものがないの？」とか「せまい場所に入るとホッとするのはなぜ？」とか。子どもの疑問に物知り博士が答えます。



『怪盗ルパン謎の旅行者』  
モーリス・ルブラン/作 平岡 敦/訳  
ヨシタケ シンスケ/絵（理論社）

モーリス・ルブランによって書かれた名作『怪盗ルパン』シリーズの短いお話が4つ入っています。  
変装の名人で神出鬼没の怪盗アルセーヌ・ルパンが人々を鮮やかにだまし、華麗にお宝を盗んでいきます。アニメや漫画の人気キャラクターのモデルにもなっているルパンの怪盗劇をのぞいてみませんか？